

シルバーさっぽろ

公益社団法人 札幌市シルバー人材センター 会報編集委員会

(ホームページ URL <https://www.s-silver.jp>)

発行/令和7年1月

札幌市白石区本通16丁目南4-26 リフレサッポロ4階

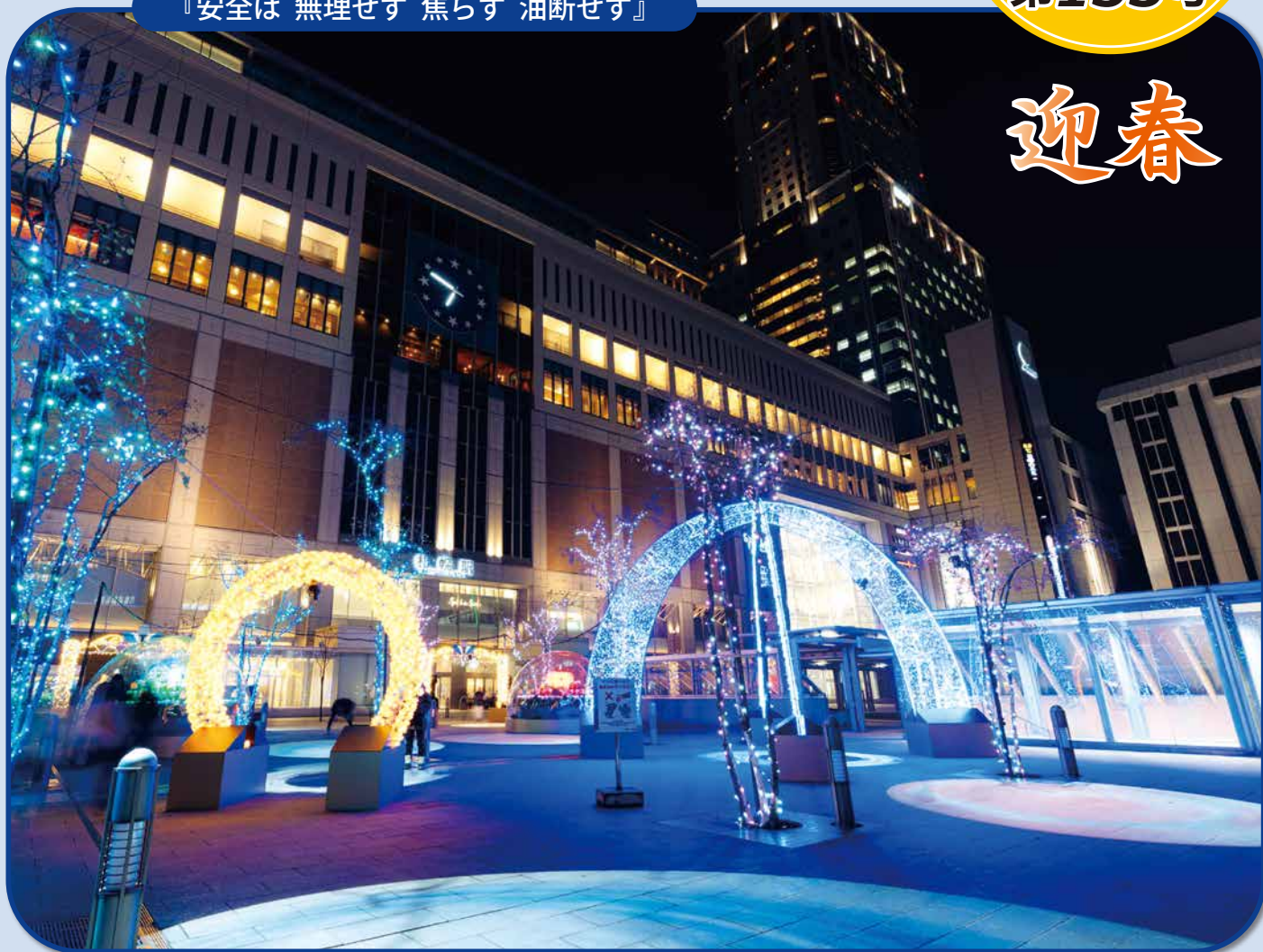
TEL.011-826-3296

2025
1
第133号

全国統一安全就業スローガン

『安全は 無理せず 焦らず 油断せず』

迎春



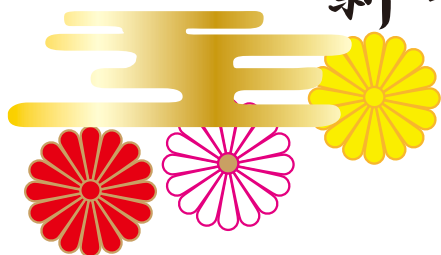
札幌駅前広場のイルミネーション

● 新年のご挨拶 理事長 榊 英司	2
● 年頭のごあいさつ 札幌市長 秋元 克広	3
● 各種会議が開催されました	4
● 札幌市に対しての要請活動を実施/令和6年度 賛助会員のご紹介	5
● 地域班活動のようす	6~7
● 市役所にてパネル展を実施/更新研修・ヘッジトリマー研修会について	8
● パソコンやスマホから会報を閲覧することができます!/職員紹介	9
● 「フリーランス法」について/「配分金見積基準表」について	10~11
● おすすめカンタン筋トレ体操	12
● 会員のみなさまへお願いです!	13
● 配分金に関わる確定申告について	14
● 事務局からのお知らせ	15~16

シルバー人材センター
(愛称 生き活きセンター)



新年のご挨拶



理事長 榊 英 司



新年明けましておめでとうございます。

札幌市シルバー人材センターの会員の方をはじめといたしまして、関係の皆様には、お健やかに令和7年の初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素より当センターの事業運営につきまして、格別のご理解とご協力を賜りまして、心より厚く御礼を申し上げます。

人生100年時代を迎え、健康で働く意欲のある高齢者の方々に、その豊かな知識、経験を生かしてそれぞれの希望や能力に応じて就業する場を提供する当センターは、地域社会の中で大きな役割を担っているといえます。

このため、会員の拡大と高齢化した会員に対応した就業の確保、安全就業の徹底、デジタル化の推進に引き続き注力して参りたいと考えておりますが、これまで、既に新しい就業の場として、札幌市の広報誌配布の一部試行的受注、市内の小学校におけるフッ化物洗口モデル事業に係る洗口液作製業務の受注などがあり、また除草作業において損害賠償事案が発生しなかったこと、さらには会員webサービス、ホームページのメニューの充実など前向きな成果をあげています。

今年度は、当センターの第3次基本計画の最終年度となりますが、事業計画推進委員会の4つの部会において所管の課題を整理して取りまとめ、これに新たな課題を加え、次年度新しい基本計画を策定することとしています。

一方、シルバー人材センター事業においては、一昨年10月からの会員への配分金に係る消費税の仕入控除が段階的に認められなくなるインボイス制度の導入、昨年11月から施行された「フリーランス法」に伴う会員への就業条件明示の対応、新しい契約方法の見直しの検討など事業運営にとって難しい事柄が続いておりますが、これらに対し積極的に取り組むとともに、これまで以上に会員が安全で安心して仕事に就いていただける環境づくりに努めます。

結びにあたり、本年が皆様にとって最良の年となりますことをご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。





年頭のごあいさつ



札幌市長 秋元 克広

新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり謹んでごあいさつを申し上げます。

私が市長に就任し、今年で丸10年を迎えますが、これまで「誰もが安心して暮らし生涯現役として輝き続ける街」「世界都市としての魅力と活力を創造し続ける街」という札幌の未来の実現に向けて、全力で市政運営を行ってきたところです。

昨年は、共生社会の実現に向けて「(仮称)札幌市誰もがつながり合う共生のまちづくり条例」の制定に係る検討や、障がいのある方が働きながらICTスキルを身につける機会の提供、市内施設のバリアフリー化などを進めたほか、地域や行政の課題解決を目的とした官民連携窓口の開設など、さまざまな取組を進めてまいりました。

さらに、昨年6月には、GX(グリーントランスフォーメーション)産業の集積と金融機能の強化・集積を目指す特区提案が国に認められ、札幌市を含む北海道が「金融・資産運用特区」に決定されるとともに、「国家戦略特区」の指定を受けるなど、脱炭素社会の実現や新たな産業の発展・創出に向け、大きく動き出した1年となりました。

本年は、引き続き脱炭素社会の実現に向けた取組として、水素エネルギーの普及を一層推進するため、定置式の水素ステーションを中央区に設置するとともに、燃料電池を導入した集客交流施設の整備に向けた準備を進めており、「災害に強く環境にやさしいモデル街区」の形成を行ってまいります。

また、多様な移動ニーズに対応するため、利便性や回遊性が高く、環境負荷の少ない新たな公共交通の実現を目指し、2030年を予定している本格運行に向けて、社会実験などの取り組みを進めてまいります。

現在、札幌も人口減少という一大局面を迎え、超高齢社会や人手不足、加えて資材価格の高騰などの課題に直面しておりますが、これらの社会情勢の変化に適応し、次の世代に引き継いでいくためには、経済を持続的に発展させることも重要です。そのため、札幌の強み及び重点分野である「観光」と「食」「環境」「健康福祉・医療」「IT・クリエイティブ」において、企業・市民・行政が一体となり、施策をより一層推進してまいります。

3期目の折り返しとなる今年も、市民の皆さまとの対話を重ね、共に札幌の未来を築いていくために、全力で取り組んでまいりますので、活力ある地域社会づくりに貢献されてこられた会員の皆さまには変わらぬお力添えをお願い申し上げます。本年が皆さま、貴センターにとりまして、素晴らしい1年となることを心よりお祈りいたします。



監	監	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	常	副	副	副	理
事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	務	理	理	理	事
他	樋	宮	小	庄	箭	風	渡	平	松	神	小	岡	對	高	牧	北	中	理
職	口	木	松	中	原	間	利		村	野	島	田	馬	橋	野	林	村	事
員	一	雅	信	祐	将	恭	忠	千	詔	信	政	修	宗	哲	春	貴	晏	中
同	宏	和	司	人	子	勝	子	佳	子	夫	幸	一	治	夫	之	人	雄	理
																		長
																		榑

謹んで新年のご祝詞を申し上げます

各種会議が開催されました

地域班運営委員長連絡会議

令和6年度 第2回 令和6年7月26日開催

- (1) 報告事項
 - ① 令和5年度 傷害・賠償事故発生状況について
 - ② 就業期限基準（5年基準）対象者への対応について
 - ③ 会員Webサービス操作説明会の開催結果について
 - ④ 「スマホ講習会」の開催について
- (2) 協議事項
 - ① 札幌市への要請活動について
 - ② 「シルバーフェスティバル」（道シ連主催）等への協力について
 - ③ 新入会員に対する「地域班等役員名簿」の配付について
- (3) その他
 - ① 令和6年度 地域班運営委員会等活動実施報告書（上半期分）の提出について
 - ② 2025年版会員手帳について
 - ③ 会報第132号（令和6年8月）の発送予定日について

令和6年度 第3回 令和6年11月15日開催

- (1) 報告事項
 - ① 「シルバーフェスティバル」（道シ連主催）の開催結果について
 - ② 「スマホ講習会」の開催結果について
 - ③ 「配分金見積基準表」の改定（案）について
 - ④ 「フリーランス法」施行について
- (2) 協議事項
 - ① 令和6年度「会員継続調査」の実施について
 - ② 令和7年度の地域班活動費及び組織活動費について
- (3) その他
 - ① 役員等の改選について（事前案内）

職群班長会議

令和6年度 第2回 令和6年7月26日開催

- (1) 報告事項
 - ① 第1回安全・適正就業委員会の協議結果について
- (2) その他

令和6年度 第3回 令和6年11月15日開催

- (1) その他

配分金見積基準表検討委員会

令和6年度 第1回 令和6年10月4日開催

- (1) 議事
 - ① 委員長の代行及び委員の交代について（報告）
 - ② 「配分金見積基準表」改定にあたっての確認事項等
 - ③ 新「配分金見積基準表」（案）の作成について

令和6年度 第2回 令和6年10月18日開催

- (1) 議事
 - ① 新「配分金見積基準表」（案）の作成について
 - ② 交通費について
 - ③ その他

理事会

令和6年度 第2回 令和6年8月30日開催

- (1) 報告事項

報告第1号	会員の入退会状況について（～7月）
報告第2号	事業実績について（～7月）
報告第3号	前回理事会以降の会議・行事について
報告第4号	今後実施の会議・行事について
報告第5号	事業計画推進委員の交代について
報告第6号	「配分金見積基準表検討委員会」委員長の代行について
報告第7号	就業期限基準（5年基準）対象者への対応について
報告第8号	「フリーランス法」の施行について
- (2) 議案

議案第1号	業務執行理事の選定の件
議案第2号	札幌市への要請活動の件
- (3) その他

令和6年度 第3回 令和6年11月27日開催

- (1) 報告事項

報告第1号	会員の入退会状況について（～10月）
報告第2号	賛助会員の入退会状況について（～10月）
報告第3号	事業実績について（～10月）
報告第4号	前回理事会以降の会議・行事について
報告第5号	今後実施の会議・行事について
報告第6号	令和6年度パネル展の開催結果について
報告第7号	「スマホ講習会」の開催結果について
報告第8号	「シルバーフェスティバル」（道シ連主催）の開催結果について
報告第9号	「フリーランス法」の施行について
- (2) 議案

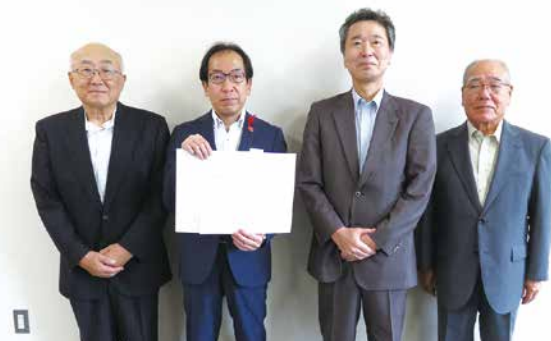
議案第1号	令和6年度「会員継続調査」実施の件
議案第2号	諸規定の改定の件
- (3) その他



令和6年度 札幌市に対しての要請活動を実施

榊理事長、田中副理事長、中村（晏）副理事長及び北林常務理事の4名が札幌市役所を訪れ、坂井経済観光局長及び庄中経営支援・雇用労働担当部長に対し、「フリーランス法」施行に伴うセンターの対応や、小学校でのフッ化物洗口の支援などを説明しました。また、会員の就業機会の拡大のため、一部の地域で実施している「広報誌配布業務」の対象地域の拡大や、随意契約条項の活用による積極的な発注について要請をしました。

坂井経済観光局長からは、「人手不足は社会問題となっており、札幌市は高齢の方の有業率が低いという特徴がある。シルバー人材センターを通じてであれば、『仕事をしやすい』『仕事を頼みやすい』ということがあるので、札幌市役所としても、シルバー人材センターの事業の周知など引き続き協力していきたい。会員の方や、新たに会員になられた方が『会員になってよかった』と一層実感できるように、会員数の増加や受注の拡大などに積極的に取り組んでいただきたい」と述べられました。



令和6年度 賛助会員のご紹介 ご協力ありがとうございます。(敬称略・順不同)

有限会社 コスモ保険センター	文化シャッター株式会社 北海道支店
耕仁会 セージュ新ことに	一般社団法人 北海道ハイヤー協会
株式会社 ジーイー工業	札幌新陽高等学校
社会福祉法人 万葉閣うららか	ロピア・エル稲積公園管理組合法人
公益社団法人 ふる里公苑	一般財団法人 札幌勤労者職業福祉センター
札幌商工会議所	札石ビル株式会社
耕仁会 セージュ山の手	慈啓会 ふれあいの郷 養護老人ホーム
社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会	社会福祉法人 さっぽろ慈啓会
Chubb 損害保険株式会社 北海道支店	真宗大谷派 智徳寺
株式会社 WorkVision	有限会社 ファンクリエイト
會澤高圧コンクリート株式会社	NTT都市開発株式会社 北海道支店
慈啓会 特別養護老人ホーム 札幌市稲寿園	キャリアバンク株式会社
株式会社 特殊衣料	HRTニューオータニ株式会社
公益社団法人 北海道マンション管理組合連合会	医療法人 勉仁会 中垣病院
医療法人社団中田歯科医院	佐藤印刷株式会社
有限会社 オフィスピュア	阿部鋼材株式会社
札幌龍谷学園高等学校	公益財団法人 産業雇用安定センター 北海道事務所
株式会社 集楽園	カルチェド札幌管理組合法人
社会福祉法人勤医協福祉会特別養護老人ホームもなみの里	宗教法人 カトリック殉教者聖ゲオルギオのフランシスコ修道会
旭運輸株式会社	伊夜日子神社

中央支部 ●中央区地域班

中央区地域班（女性部）では、学校への雑巾プレゼントの活動をしております。

昨年より会員の皆さまにお願いして、ご家庭で使われていないタオルを寄付していただき、会員や「おはりの会」の方々のご協力で雑巾を作り、中央区の小学校16校に550枚の雑巾をお届けすることができました。

校長先生や教頭先生に直接手渡し、「厚さも大きさも生徒たちにちょうど良く、雑巾はいくつあっても嬉しい」と、大変喜んでいただきました。

現在もタオル集めを継続中です。ご協力お願いいたします。

続きまして、中央区職群班として庭3種（機械除草・植木の手入れ・冬囲い）の自主研修は、毎年、聖心女子学院を中心に活動しています。

今年は特に、機械除草の事故防止のための新たな取り組みとして、シーズン開始前の5月に同院で特別研修を行いました。中央区では機械除草に従事している人は17名いますが、内12名が集まりました。昨年度の報告では、主に小石が飛散して事故に至るケースが多かったため、研修ではあえて石を飛ばしながら、飛ぶ方向・角度の確認、防護用具の種類、ガードの仕方を、各自が実際に機械を使いながら検証しました。また、チップソーとヒモの飛散の違いや、ヘッド面の接地角度の調整方法などについても説明を受けました。その結果、今年度中の機械除草の事故報告は今のところありません。

この研修では、あらためて機械除草作業の危険性について再確認することができました。事故防止の観点から、今後も継続して開催していきたいと考えております。

また10月には、冬囲いの研修として9名が参加しました。ベテランから未経験の人までいろいろな方が集まりましたが、初心者クラス、C判定取得者、B判定取得者の3つのグループに分けて、おのおの持ち場で、男結びや、吊り、柵組みについて研修しました。特にC判定を受けたばかりの人たちについては、同院では手ごろな低木がなかったので、お願いしていた個人宅に移動して、枝の括り方と竹の組み方、縄の竹回しの仕方を行いました。その後、実際の現場で何とか先輩方についていけるまでになってきています。何事も現場での経験が大事なので、現場第一主義で、今後とも活動を続けていきたいと思っています。

（記 瀧尾よし子・塚田義廣）



雑巾の製作風景



冬囲い作業の自主研修

東支部 ●白石区地域班

今年度、白石区地域班の活動の1つとして、運営委員内の連絡体制を見直しました。今までは往復はがきで連絡を行っていましたが、「経費削減」「三役の仕事量削減」等の複数の理由により、「LINE」による連絡体制の導入を令和6年3月の運営委員会で議論され、6月から導入することが了承されました。なお、スマートフォンを使用していない役員へは、当面、電話による連絡体制とし、スマートフォンを新たに所持した場合は速やかに「LINE」を使用することとなりました。また情報漏洩を防ぐため、項目ごとにグループを分けております。新体制により、役員約半数が「LINE」を利用しており、これにより、返信はがきの出し忘れや日時の勘違いがなくなり、大変好評です。その後も継続して「LINE」参加する役員が増えている状況です。

7月に新規会員懇談会を開催しました。新規会員10名、役員5名、東支部の大島所長も参加して、入会の動機や就業の感想などについて話し合いました。9月には、8班・9班で初となる合同懇談会を開催しました。

東支部から大島所長と対馬運営委員長を迎え8班10名、9班12名、東支部から大島所長も参加され、総勢24名で、意見交換を含め、いろいろな話し合いが行われ、楽しく親睦会が開催されました。



料理教室 風景

続きまして女性部から報告です。現在、白石の女性会員は88名。親睦を深めるため、今年も複数のイベントを実施しました。(①料理教室 ②啓発活動用チラシ折込ティッシュ作り ③円山動物園見学 ④講演会)。

講演会の演題は、「若さを保つには冬のお手入れが大切」。講師は玉田恭子会員(長年美容と健康の分野で活躍されてきたエキスパートです)のもとで行われ、とてもためになる内容でした。また、1月末には「新年お楽しみ会」を、白石区民センターにて参加費500円で開催予定です。

会員の西部邦英のギター伴奏で歌ったり、ゲーム大会やビンゴゲーム(景品あり)などを予定しています。このような仲間との交流を通じて、新たな刺激や気づきを得られることも多いでしょう。楽しみにしててください！

新しい仕事として、現在札幌市は市内4校の小学校で虫歯予防のためのフッ化物を含んだ液体で口をすすぐ「フッ化物洗口」のモデル事業を始めました。モデル校となった白石区の小学校ではシルバー人材センターから8名の会員(女性6名、男性2名)がチームを組み、フッ化物洗口液作製業務を担当しています。仕事は洗口液の作製、洗口場所で紙コップ分注、洗口後の容器の洗浄、保管庫への洗口用品の返却等です。40年ぶりの小学校の教室はオープンクラスで、初めは仕事を始め戸惑いましたが、チームワークも良く、楽しく働いております。(記 西部邦英・平 詔子)



フッ化物作業

北支部 ● 北区地域班

北区地域班では、女性部長のリードにより、女性部、職群班「裁縫部門」および同好会「手芸クラブ」の3グループが合同で活動しています。「健康維持講座」、北大イチョウ並木や百合が原公園の散策等、会員交流を主に実施しております。

また、幼稚園、保育所等から依頼の遊び着、毛糸による手袋、靴下等を作製したり、椅子カバーのあつらえなどの依頼に応じて、皆さまから好評のお声をたくさん頂戴しました。さらに道シ連が主催する「シルバーフェスティバル」に積極的に参加して、北区女性部会の活動をアピールしました。



女性部・裁縫グループ・手芸クラブの合同会議



チカホでの合同作品展示会

以下の写真は、北区職群班庭3種(機械除草・植木の手入れ・冬囲い)の自主研修の風景です。

わが北区職群班のスローガンとして、「庭3種に携わる会員は地域のお庭、庭園の植物がイキイキと輝きを保つための『助け人』となれるように」養成しています。

また、作業中の事故防止のため、注意喚起にも力を入れています。



機械除草研修風景(5月9日)



植木の手入れ研修風景(6月6日)

令和6年度 パネル展 市役所ロビーにて開催

例年同様、今年度も札幌市シルバー人材センター主催のパネル展が開催されました。開催期間は、9月9日(月)から9月13日(金)までの5日間で、無事に終了しました。

令和5年度は残暑が厳しく、来場者が思ったより少なかったため、令和6年度は約1週間ほど開催を遅らせた結果、来場者数が20%増加しました。

また、パネル展来場者数増加の要因としては、開催時期を遅らせたことだけでなく、春先からの新規入会者が増加していることを考慮すると、令和5年度より人々が仕事以外で外出する機会が増えた結果なのではと思います。

会場では、多くの来場者が設置された資料を手に取り、興味深くパネルを観覧していました。また、興味を持った方は受付に質問を寄せていました。

次年度についても、多くの方が来場し、さらなる新規入会者も増えることを期待したいと思います。



研修会のご案内

■ 更新研修

研修会場	リフレサッポロ1階会議室A (札幌市白石区本通16丁目南4-26)
開催日時	全3回開催 (令和7年2月14日・2月18日・2月20日) 10時～12時 (約2時間程度) (開場9時) <注意> 同一日に受講希望者が偏った場合は抽選となり、他の日に変更をご依頼する場合があります
受講対象者	①「植木の手入れ」「植木の冬囲い」「除草(機械)」(以降、庭三職種という)の、いずれかの技能研修会を平成31年(令和元年)度に受講し、【C】以上の判定評価を受けた会員 (ただし、平成31年(令和元年)度以降に庭三職種の研修を受講された場合は、最後に受講した研修が対象になります) ②令和5年度受講対象者であったが、本人の都合により未受講であった会員 ③更新研修を受講してから5年経過した会員
受講義務	更新研修の受講は義務とし、期限内に受講しない場合は、庭三職種の就業は不可とします。ただし、期限内に更新研修を受講しなかった場合、保有している判定評価を喪失することはありませんが、次年度は庭三職種に就業することができません。就業を希望する場合は、改めて更新研修を受講することで就業可能となります。

■ ヘッジトリマー研修

研修会場	リフレサッポロ1階会議室A (札幌市白石区本通16丁目南4-26)
開催日時	令和7年3月4日(火) 10時～11時30分 (約1時間半程度)
受講対象者	①令和6年度の植木の手入れ研修において【B】以上の判定評価を受けた会員 ②前年度受講対象者であったが、本人の都合により未受講であった会員

■ 申込方法 (更新・ヘッジトリマー共通)

①の会員	①の会員については、事務局より案内文書を郵送します
②の会員	②の会員については、ご自身での申し込みになりますので、下記の要領でお申し込み下さい
※電話での申し込みは受け付けておりません。文書(郵便類・FAX・電子メール)で、研修名・研修日・住所・氏名・会員番号・電話番号をご記入の上、お申し込み下さい。(申込用紙は各支部事務所にも用意しています)	

■ 申し込みまたはお問い合わせ先

〒003-0026 札幌市白石区本通16丁目南4-26 リフレサッポロ4F 公益社団法人札幌市シルバー人材センター総務課 担当：岩館 e-mail: kensyu@s-silver.jp	☎011-826-3296	FAX011-826-3439
--	---------------	-----------------